

CITIZEN®

電波時計 取扱説明書 (掛時計)

- 標準電波を受信して正しい時刻に自動修正
- 電池寿命約10年

お買い上げいただきありがとうございます。
 お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
 お読みになった後もお手元に保管して、必要に応じてご覧ください。

製造
発売元 **リズム時計工業株式会社**
 〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番12
<http://www.rhythm.co.jp>

アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。

- 修理部品の保有について
この時計の修理用性能部品（電子回路など）は製造打ち切り後、7年間を基準に保有しています。ただし、外装部品（ケース類）の修理には、類似代替品の使用や現品交換で対応させていただくことがあります。
- 修理可能期間について
無償保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有償での修理が可能です。ただし、修理内容や送料などにより修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。
- 転居または贈答品の場合
お買い上げ販売店でアフターサービスが受けられない場合は、お客様相談室にご相談ください。保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。
This product is intended for the Japanese market.
Service and technical support for this product are available only within Japan.

(Y1403)

おもな製品仕様

使用温度範囲 -10～50℃ *結露しないこと
 時間精度 標準電波受信成功直後の表示精度 時分針 目盛りに対して±3度
 標準電波を受信しない場合 平均月差±20秒（温度が5～35℃のときのクォーツ精度）
 使用電池 二酸化マンガンリチウム電池 CR23500SE 3V 1個 内蔵
 電池寿命 約10年
 防水機能 なし

電波時計機能 電波の受信に成功すると時刻を修正
 受信局 福島局/九州局 自動選択
 受信回数 1日に最少1回、最多12回
 受信ON/OFF なし
 手動時刻合わせ ボタン操作

自動受信による時刻修正回数は、受信状況により変化します。

条件	回数	開始時刻
▶受信成功から72時間以内の場合	1～3回/日	AM 2:16:40、AM 3:16:40、AM 4:16:40
▶連続72時間以上受信に失敗している場合	12回/日	奇数時の16分40秒 例 AM 1:16:40、AM 3:16:40など
▶初めから受信に失敗している場合		
▶手動で時刻合わせをした場合		

■製品仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

付属品 電池 1個（内蔵） 木ねじ 1個 取扱説明書 本書 保証書 1枚

お問い合わせ先 **お客様相談室 0120-557-005** (フリーダイヤル)
 受付時間 9:00～17:00（土日、祝日および当社休日を除く）
お問い合わせに際しては、時計裏面に表示してあります製品番号（型番）「4MY660」をお伝えください。

この取扱説明書を許可なく複製、変更することを禁じます。
 本製品を使用することによって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してなんら責任を負いかねますのでご了承ください。

CITIZENはシチズンホールディングス株式会社の登録商標です。
 当社はCITIZENブランドライセンス商品の掛時計、置時計、めざまし時計、温度湿度計、ストップウォッチを企画・製造・販売しています。

安全にお使いいただくためにはじめにお読みください

ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

- 図記号の説明 ○は、禁止（してはいけないこと）を示しています。
 ①は、指示する行為を必ず守ることを示しています。

警告 死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容

- ❗ 誤飲を防止するため、小さな部品や電池は、幼児の手の届く所に置かない
- ❗ 電池からの液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことを守る
- 電池に傷をつけない。●電池を分解しない。●電池をショートさせない。●電池を充電しない。●電池を加熱しない。●電池を火の中に入れない。
- ❗ 電池から液漏れが起きてしまったときは、素手でさわらない
- 目や皮膚についたら、すぐに水道水でよく洗い流して医師の治療を受けてください。放置すると失明や炎症などの障害が発生する危険性が高くなります。衣服に付着した場合は、すぐに水道水で洗い流してください。
- 電池を外して漏れた液を布や紙でよくふき取ってください。修理が必要なときは、お買い上げの販売店または当社お客様相談室にご相談ください。

注意 傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容

- ❗ 強い振動や衝撃を与えない
故障や破損の原因になります。
- ❗ 浴室やサウナ、温室など、高温・高湿になる所では使わない
故障や誤作動の原因になります。
- ❗ めれた手で触らない
故障や誤作動の原因になります。
- ❗ 分解や改造をしない
けがや故障の原因になります。
- ❗ 下記のような場所では使わない
精度の低下、部材の変形、変色、劣化、故障の原因になります。
- 直射日光が当たる所。
- 暖房機器などの乾燥した風が当たる所。
- 温度が+50℃以上の所。
- 温度が-10℃以下の所。
- ほこりが多く発生する所。
- 強い磁気を発生させる機器のそば。
- 車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
- プール、温泉場などガスの発生する所。
- 調理場など多くの油を使用する所。
- ゴムや軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、色移りや付着、変質をすることがあります。

電波時計について

電波時計とは
クォーツ時計に標準電波を受信する機能を搭載し、標準電波を受信することにより、自動的に正確な時刻に修正する時計です。

標準電波とは

標準電波(JJY)は、日本標準時(JST)をお知らせするために、情報通信研究機構が運用している電波です。
 ※標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という「セシウム原子時計」によるものです。
 標準電波送信所は、福島県の「福島局：おおたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局：はがね山標準電波送信所」の2カ所にあります。
 標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。
 (<http://jly.nict.go.jp>)

標準電波の送信停止について

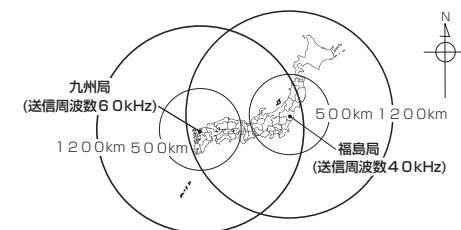
送信所の定期点検や落雷などの影響により、標準電波の送信が停止することがあります。標準電波の送信状態については「情報通信研究機構」のホームページをご覧ください。

海外でのご使用について

この時計は、日本以外の標準電波は受信できません。海外で使用した場合、まれに日本の標準電波を受信し、日本の標準時を表示したり、ノイズにより誤った時刻を表示することがあります。

電波の受信範囲について

送信所から約1200km離れた場所でも受信可能です。ただし、受信範囲であっても電波障害(太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯(昼/夜)あるいは地形や建物の影響など)により、受信できないことがあります。

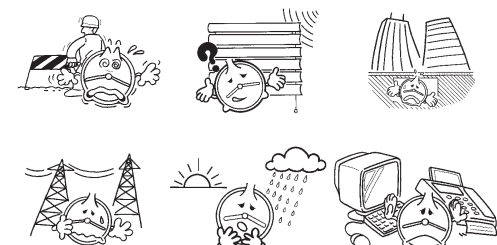


この時計は福島局と九州局に対応しており、標準電波を自動選択して受信します。

電波を受信しにくい環境

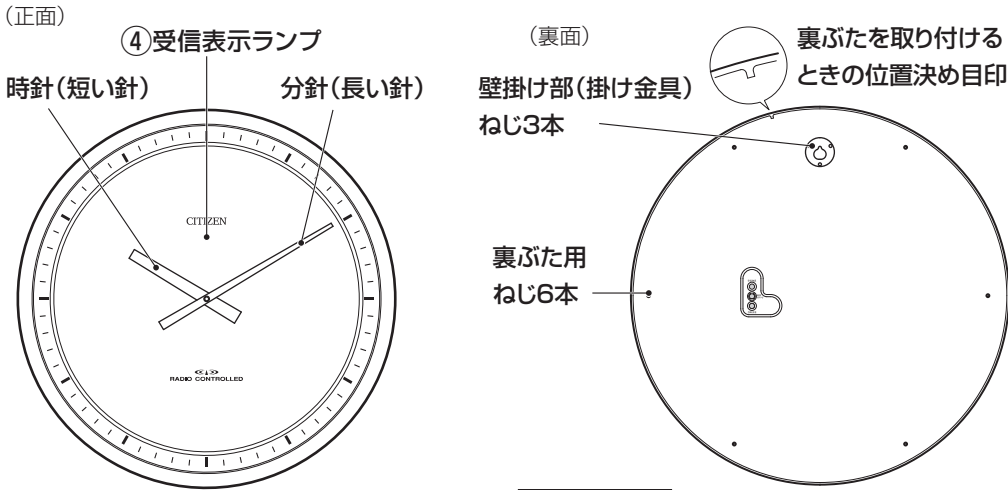
次のような場所では受信できない場合や誤った時刻を表示することがあります。

- 工事現場、空港の近くや交通量の多い所など電波障害の起きる所
- 金属製の雨戸やブラインドの近く
- ビルの中、ビルの谷間、地下
- 高圧線、テレビ塔、電車の架橋近く
- 朝夕の時間帯、雨天のとき
- 家電製品やOA機器の近く
- スチール机等の金属製家具の上や近く



各部の名称と役割

●図は操作説明用ですので、実際のものとは異なることがあります。



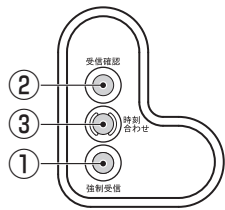
針の動き……通常の時刻表示

時計・分針：10秒に1回動きます。
※自動受信により、時刻を修正するときは早送り
で移動したり、停止することがあります。

⚠ 注意

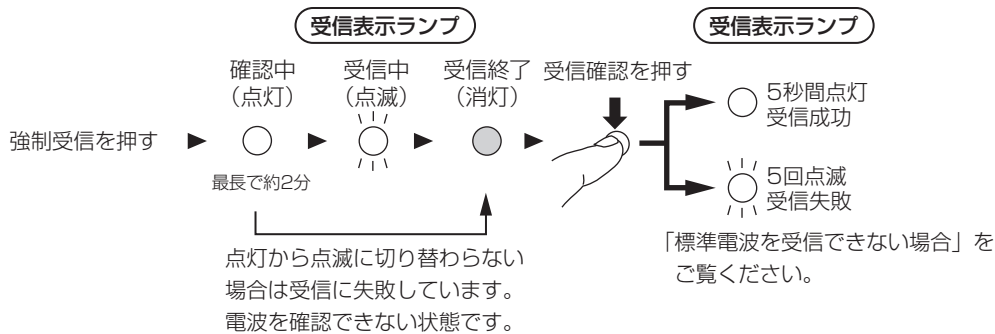
電池を交換した後は、ねじを確実に締めてくだ
さい。掛け金具や裏ぶたのねじが緩いと時計が
落下する危険があります。

(操作部)



- ①強制受信 …………… 電池を入れた直後や静電気などにより誤作動したと
きに押します。押すと受信を開始します。
- ②受信確認 …………… 受信結果を確認するときに押します。結果を受信確
認ランプの点灯、点滅でお知らせします。
- ③時刻合わせ …………… 押してすぐ離すと1分進み、押し続けると早送りしま
す。**不用意に押すと時刻が変わります。**
- ④受信確認ランプ …… 受信状態や結果を点灯、点滅でお知らせします。

電波受信の流れ



※受信に成功しても時刻が正しくないときは、ノイズが原因と考えられますので、設置場所を
変えて**強制受信**を押してください。

※**受信確認**を押すと、25時間以内の受信結果を表示します。

標準電波を受信できない場合

- 朝までそのまましておく
一般的に夜間は電波状態が良くなるので、手動で時刻合わせをして一晩そのままにしておくと受信できる可能性が高くなります。
- 場所を変える／受信をやり直す
電波の受信しやすい窓などで取扱説明書の日本地図を参考にして、時計の正面または裏面が電波の送信所に向くようにして、**強制受信**を押して再度受信を行ってください。
- 時刻を合わせて使用する
ベランダなどの屋外で電波の受信に成功させるか、手動で時刻を合わせて使用してください。電波が受信できないときの時間精度は、クォーツ精度になります。

手動での時刻合わせ……受信できないときや任意の時刻に合わせるとき

※**時刻合わせ**を離しているのに、針が早送りで動いている場合は、通常の針の動きになっ
てから操作してください。

※手動で時刻合わせをしても、電波の受信に成功すると自動的に時刻は修正されます。

操作

- 時刻合わせを押してすぐに離すと1分進みます
- 時刻合わせを押し続けると早送りします。
- 時刻合わせを離すとゼロ秒から時を刻みます。

こんなときには Q&A

- ⓐ 針が反時計回りに動いたり、早送りで動いたままになる。
- ⓑ 電池の残量が少なくなると、誤作動の原因になります。特に、**強制受信**を押したときや自動受信したときに発生しやすくなります。このようなときには、新しい電池に交換してください。

お手入れについて

- 汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、柔らかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
- ケースなどの汚れ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。
- 静電気により、時計や掛けた壁面が汚れることがありますので、定期的に汚れを落としてください。

使用方法 電池を入れて時刻を合わせる

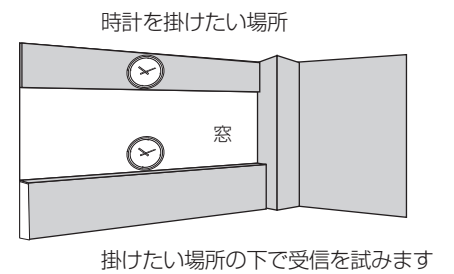
標準電波を利用しないで、手動で時刻を合わせる場合は、**(手動での時刻合わせ)**を参照してください。

●時計に電池を組み込み、動かした状態で出荷しています。

●窓際など電波の受信しやすい所でお使いください。

① 設置する所の下で強制受信を押す

針は止まったままです。受信が終わると針が早送り移動を開始します。



② 15分待つてから受信確認を押して受信結果を確認する

受信確認を押してすぐに離すと、**受信確認ランプ**で受信結果をお知らせします。

5秒間点灯 : 受信成功 (正しい時刻)

5回点滅 : 受信失敗 (不正確な時刻) → **(標準電波を受信できない場合)**へ

消灯したまま: 受信中

③ 時計を掛ける

⚠ **注意** 掛けかたが不適切な場合、時計が落下する危険があります。

○掛けたときは、上下、左右に軽く動かして、壁掛け部に掛け具(木ねじ)がしっかり掛かっていることを確認してください。

○垂直に掛けてください。傾くと掛け具から外れるおそれがあります。

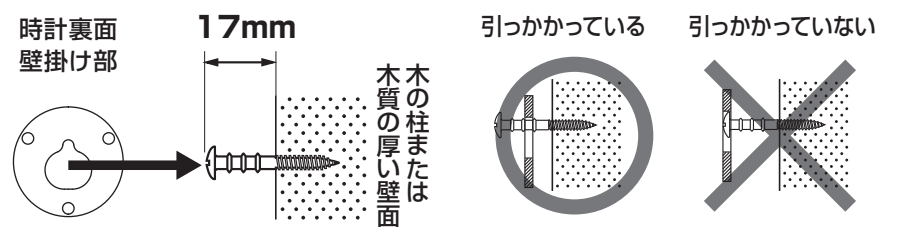
○市販の掛け具を使用するときは、壁掛け部にしっかり掛かるものを選んでください。

○ドアを開閉するときの振動が伝わらない所に設置してください。

木の柱または木質の厚い壁面の場合

●付属の木ねじが使用できる場所は、木の柱または木質の厚い壁面です。

●木ねじは下図のとおり、壁面にしっかりねじ込んで固定してください。



その他の壁面の場合

- 石こうボード、コンクリートなどの壁面に掛ける場合は、壁の材質・構造と時計の重量に合った、市販の掛け具をご使用ください。その際、粘着式や吸盤式は時計が落下する危険がありますので、使用しないでください。

電池の寿命について

- 付属の電池は、工場を出荷するときに入れていますので、製品仕様より短い期間で電池切れになることがあります。
- 使用環境の温度などにより、製品仕様より電池寿命が短くなる場合があります。

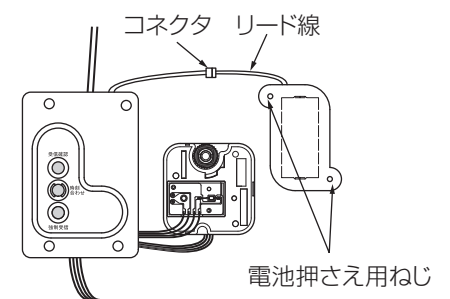
電池の交換

交換用の電池は、当社お客様相談室へご依頼ください。その際は、「4MY660の交換用電池(二酸化マンガンリチウム電池)」とお伝えください。交換用の電池は有償です。

ねじに合ったドライバーをご用意ください。

指定以外のところには触れないでください。

1. 時計裏面の9本のねじを外し、裏ぶたと掛け金具を取り外します。
2. 電池押さえを固定しているねじ2本を外し、電池押さえを取り外します。
3. 電池を接続しているコネクタ部を引き抜いて外します。
4. 新しい電池のコネクタの向きを合わせて差し込みます。
5. 電池押さえを2本のねじで固定します。
6. 裏ぶたの位置決めを合わせてから、6本のねじで固定します。
7. 掛け金具を3本のねじで固定します。



コネクタ部の着脱

コネクタ部を持って取り外してください。



※電池交換後は、「使用方法 電池を入れて時刻を合わせる」に従って操作してください。

リード線を無理に引っ張ると断線やコネクタ部を破損するおそれがあります。

電池・時計の廃棄

- お住まいの自治体の指定に従ってください。
- 電池と本体を分別して廃棄してください。